

第47回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会静岡県予選

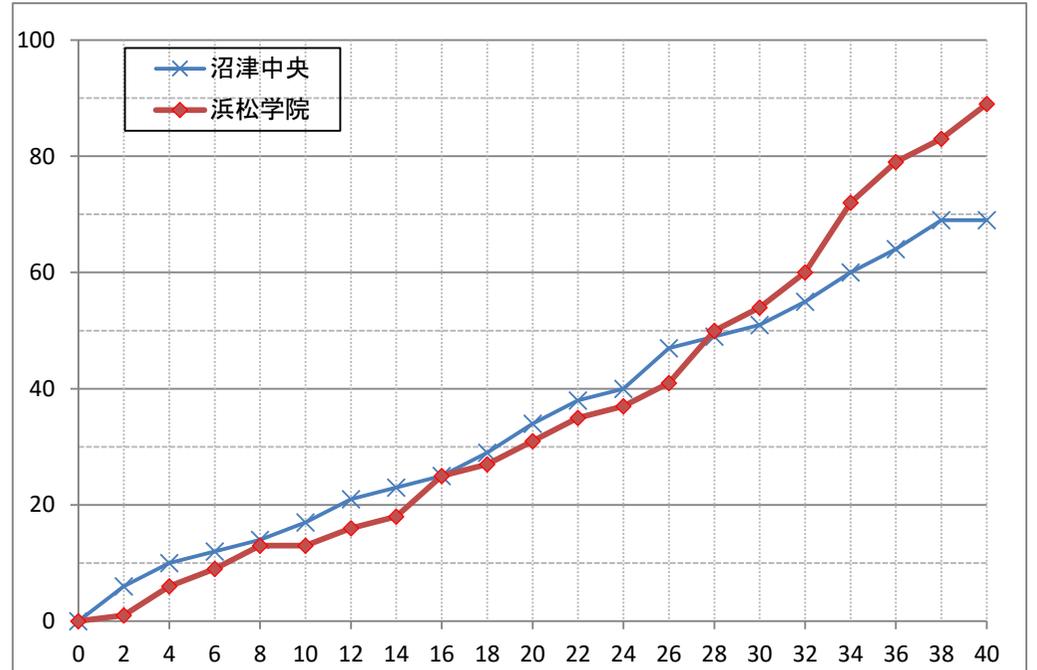
決勝	
試合日	2016年11月13日
会場	静岡県武道館
コート	Zコート
開始時間	13:30

TEAM A		TEAM B	
沼津中央 (東部)	69	89	浜松学院 (西部)
	17 - 13		
	17 - 18		
	17 - 23		
	18 - 35		
	OT		

TEAM A 沼津中央 (東部)							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	藤原 佑介	2	0	1	0	3
5	*	鈴木 翔	7	1	1	2	3
6		兼平 隆世	0	0	0	0	2
7		宮澤 亮	4	0	2	0	3
8	*	山田 陸	8	0	4	0	3
9		松田 武彦	0	0	0	0	0
10	*	渡辺 僚	5	1	0	2	5
11		植田 真大	0	0	0	0	0
12		深澤 香貴	4	0	2	0	2
13		永倉 靖大	0	0	0	0	0
14		加藤 麗央	0	0	0	0	0
15	*	SAMBOU ANDRE	39	0	19	1	5
16		奥村 慧人	0	0	0	0	0
17		近藤 光駿	0	0	0	0	0
18		石井 海豊	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	1
TOTAL			69	2	29	5	27

TEAM B 浜松学院 (西部)							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		伊藤 颯太	4	0	2	0	4
5	*	ダシルバヒサン	17	0	7	3	0
6		青島 和哉	2	0	1	0	0
7	*	横川 真那斗	11	0	5	1	3
8	*	石川 晴道	27	4	4	7	2
9	*	横山 寛太	15	0	6	3	4
10		小池 玲史	0	0	0	0	0
11		谷口 夏樹	0	0	0	0	0
12		堀内 佑真	0	0	0	0	0
13	*	田中 旭	13	0	5	3	4
14		岡村 泰知	0	0	0	0	0
15		亀山 憧弥	0	0	0	0	0
16		前嶋 健汰	0	0	0	0	0
17		河合 優作	0	0	0	0	0
18		杉山 慧輔	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	0
TOTAL			89	4	30	17	17

【 得点経過 】



【 戦評 】

1PD インターハイ出場チーム同士の対戦となった男子決勝。両チームマンツーマンディフェンスでスタート。沼津中央は⑮SAMBOUのシュートで先制する。対する浜松学院は、リズムに乗ることができず開始2分で8-1と沼津中央がリード。その後も沼津中央は⑮SAMBOUの攻守にわたる活躍で優位に進め第1PDを終える。

2PD 沼津中央⑮SAMBOUの勢いは止まらずアリウープダンクを含め6連続でゴール下シュートを決める。ここで浜松学院⑬田中が奮起しミドルシュートを決め、⑧石川も3本目となる3ポイントを決めるなど、残り5分で25-25の同点に追いつく。その後も互いに譲らず白熱したゲーム展開で34-31の沼津中央リードで前半を終える。

3PD 後半に入っても両チームとも激しいプレッシャーディフェンスを続け互角の戦いとなる。沼津中央は徹底して⑮SAMBOUにボールを集め、開始5分には47-39と点差を広げペースを掴むかと思われたが、浜松学院も気迫あふれるディフェンスから⑧石川⑨横山の連続速攻が決まり、残り2分ずついに逆転。54-51と浜松学院が3点リードで第3PDを終了する。

4PD 浜松学院がディフェンスから一気に仕掛け出し、⑧石川のドライブから⑦横川⑨横山がブレイクを決めるなど、完全にペースを掴み突き放しにかかる。挽回をはかりたい沼津中央だが、この日大活躍していた⑮SAMBOUが試合時間を残してファールアウトとなる。その後テクニカルファールをとられるなど後味の悪さを引きづったまま浜松学院が走り続けた。最後は89-69と大差をつけ、浜松学院が勝利し、全国選抜優勝大会への切符を手にした。

戦評(文責) 生越寛道(静岡東高校) 記入者 吉田友香 松下愛実(焼津中央高校)

第47回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会静岡県予選

決勝	
試合日	2016年11月13日
会場	静岡県武道館
コート	Zコート
開始時間	11:20

TEAM A		TEAM B
浜松開誠館 (西部)	68	駿河総合 (中部)
11	-	14
16	-	11
12	-	21
18	-	11
11	OT	4

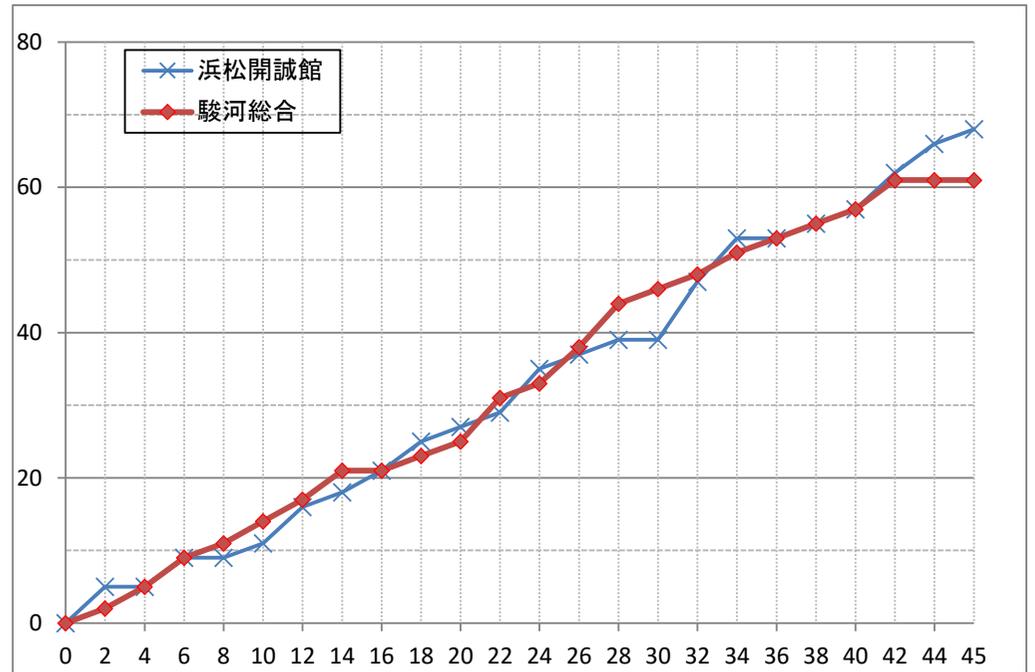
TEAM A 浜松開誠館 (西部)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	陽本 麻優	22	2	5	6	0
5	*	栗田 真生	4	0	2	0	2
6		滝川 美羽	0	0	0	0	0
7		松下 奈央	0	0	0	0	0
8	*	石田 悠月	30	0	9	12	0
9		樋口 菜帆	2	0	1	0	2
10	*	石牧 葵	10	0	4	2	2
11		奈須 希咲	0	0	0	0	0
12	*	鈴木 侑	0	0	0	0	3
13		松本 恵莉	0	0	0	0	0
14		小幡 桃花	0	0	0	0	0
15		伊藤 綾優花	0	0	0	0	0
16		岩上 夏巳	0	0	0	0	0
17		高橋 杏	0	0	0	0	0
18		佐藤 さくら	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	/
TOTAL			68	2	21	20	9

TEAM B 駿河総合 (中部)

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	西村 葉優	14	2	4	0	2
5	*	西尾 優香	1	0	0	1	2
6	*	長嶋 アンソニー 真弥	26	4	7	0	2
7	*	加藤 陽	8	0	3	2	5
8		佐々木 なつみ	0	0	0	0	0
9		寺尾 友里	0	0	0	0	0
10		野村 菜由	0	0	0	0	3
11	*	小山内 バメラウゴ	12	0	6	0	1
12		中林 野笑瑠	0	0	0	0	0
13		中山 絵梨花	0	0	0	0	0
14		堀内 はるか	0	0	0	0	0
15		勝又 亜梨沙	0	0	0	0	0
16		小畑 千波	0	0	0	0	0
17		永石 華萌	0	0	0	0	0
18		神尾 優香	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	/
TOTAL			61	6	20	3	15

【 得点経過 】



【 戦評 】

1PD 浜松開誠館は2-2-1のゾーンディフェンスからマンツーマンディフェンス、駿河総合はマンツーマンディフェンスで始まる。浜松開誠館は④陽本、⑧石田の1対1を中心に攻撃を組み立てる。駿河総合は④西村の1対1、⑪小山内の外角からのシュートで対抗する。ディフェンスリバウンドを確実に取り互角の戦いをみせる。残りわずかなところで駿河総合④西村の3ポイントが決まり14-11と駿河総合リードで第1PD終了。

2PD 浜松開誠館はオフェンスリバウンドを取りはじめ優位に試合を進める。④陽本⑧石田に加えて⑩石牧のドライブも決まりはじめ攻撃にバリエーションが増える。駿河総合は⑦加藤のポストプレーで対抗。互いに堅実な守備で得点が伸びず、27-25と浜松開誠館2点リードで前半を終える。

3PD 駿河総合は⑥長嶋の連続3ポイントで31-27とする。浜松開誠館は⑧石田のドライブで得点を重ねる。駿河総合は好調の⑥長嶋と⑪小山内の外角からのシュートで一進一退の展開。終盤、駿河総合は外角からのシュートがよく決まり、46-39と7点リードで第3PDを終える。

4PD 浜松開誠館は厳しいディフェンスから相手のミスを読み、徐々に点差をつめる。⑩石牧のポストプレー、④陽本⑧石田のドライブで同点に追いつきタイムアップ。延長戦に入る。

延長 駿河総合は⑥長嶋のシュートで先行するが、浜松開誠館⑧石田のドライブで得点を重ね、66-61とリードする。最後は④陽本のリバウンドシュートが決まり、68-61で浜松開誠館が勝利し、全国選抜優勝大会出場への切符を握った。

戦評(文責) 美澤 丈二(静岡商業高校) 記入者 武田かれん 松下愛実(焼津中央高校)

第47回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会静岡県予選

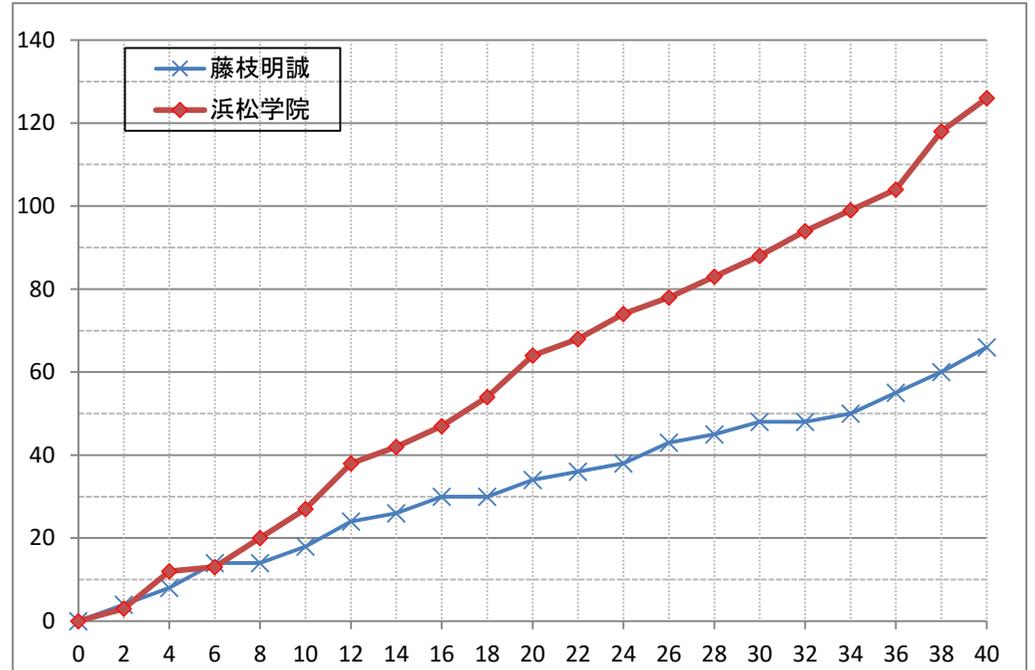
準決勝	
試合日	2016年11月12日
会場	静岡県武道館
コート	Zコート
開始時間	15:10

TEAM A		TEAM B
藤枝明誠 (中部)	66	126 浜松学院 (西部)
	18 - 27	
	16 - 37	
	14 - 24	
	18 - 38	
	OT	

TEAM A 藤枝明誠 (中部)							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	森 大空	7	0	3	1	1
5	*	北村 隆一	3	0	1	1	3
6		大塚 智樹	0	0	0	0	0
7		富永 涼介	5	0	1	3	2
8	*	富田 一成	31	0	13	5	3
9		石井 竜馬	10	0	2	6	4
10	*	照井 龍次	6	0	3	0	4
11		高木 卓也	2	0	0	2	0
12		中坪 崇斗	0	0	0	0	1
13		浅見 晴	0	0	0	0	0
14		野口 嶺	0	0	0	0	2
15	*	張 新鋒	2	0	1	0	2
16		原田 祐希	0	0	0	0	0
17		豊田 裕大	0	0	0	0	0
18		中村 和磨	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	/
TOTAL			66	0	24	18	

TEAM B 浜松学院 (西部)							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		伊藤 颯太	2	0	0	2	3
5	*	ダシルバヒサン	20	2	4	6	1
6		青島 和哉	9	0	4	1	2
7	*	横川 真那斗	17	1	6	2	3
8	*	石川 晴道	21	5	2	2	0
9	*	横山 寛太	12	0	5	2	2
10		小池 玲史	2	0	1	0	1
11		谷口 夏樹	7	1	2	0	0
12		堀内 佑真	4	0	2	0	0
13	*	田中 旭	21	0	8	5	1
14		岡村 泰知	3	0	1	1	1
15		亀山 憧弥	2	0	1	0	0
16		前嶋 健汰	0	0	0	0	1
17		河合 優作	6	0	3	0	0
18		杉山 慧輔	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	/
TOTAL			126	9	39	21	

【 得点経過 】



【 戦 評 】

1PD 両チームマンツーマンディフェンスでスタート。浜松学院⑦横川によるエンドプレーからの得点で試合が動き出す。藤枝明誠は浜松学院のドライブにファールを重ねる。浜松学院のペースで試合が先行すると思われたが、藤枝明誠の⑧富田が一人気を吐き、5分過ぎには逆転。しかし、浜松学院は多彩なオフェンスで突き放しにかかる。18-27の浜松学院リードで第1PDを終える。

2PD 高さで勝る藤枝明誠は、インサイドにボールを集めるがなかなか得点につながらない。浜松学院はディフェンスリバウンドのこぼれ球から速い展開に持ち込み高いオフェンス力で点差を広げ、34-64の30点リードで前半終了となる。

3PD 浜松学院がインサイドで確実に得点していく。追いつきたい藤枝明誠だが、浜松学院の手堅いディフェンスに打つ手が無い。浜松学院は落ち着いて得点を重ね、48-88の40点リードで第3PDを終える。

4PD 藤枝明誠は浜松学院の圧倒的な力に決め手を欠く。浜松学院はベンチメンバーを出すほどの余裕の展開となり、途中出場のベンチメンバーも脚力を生かしたディフェンス・オフェンスで試合を盛り上げ、さらに得点を伸ばしていく。浜松学院が執拗なディフェンスと多彩なオフェンスで終始試合の主導権を握り、66-126で完勝し、決勝戦へ駒を進めた。

戦評(文責) 増田哲也(静岡商業高校) 記入者 山口悠那 高橋希璃(島田商業高校)

第47回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会静岡県予選

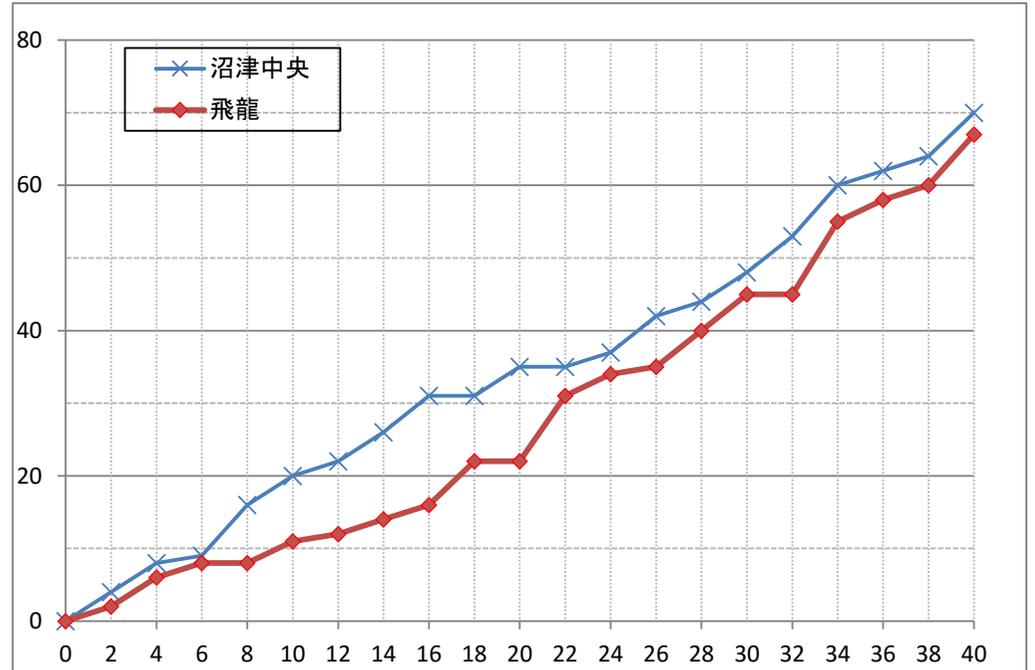
準決勝	
試合日	2016年11月12日
会場	静岡県武道館
コート	Zコート
開始時間	13:20

TEAM A		TEAM B	
沼津中央 (東部)	70	67	飛龍 (東部)
	20 - 11		
	15 - 11		
	13 - 23		
	22 - 22		
	OT		

TEAM A 沼津中央							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	藤原 佑介	17	1	4	6	3
5	*	鈴木 翔	4	0	2	0	1
6		兼平 隆世	0	0	0	0	1
7		宮澤 亮	8	0	4	0	4
8	*	山田 陸	9	0	4	1	5
9		松田 武彦	0	0	0	0	0
10	*	渡辺 僚	8	1	1	3	3
11		植田 真大	0	0	0	0	0
12		深澤 香貴	0	0	0	0	0
13		永倉 靖大	0	0	0	0	0
14		加藤 麗央	0	0	0	0	0
15	*	SAMBOU ANDRE	24	0	9	6	2
16		奥村 慧人	0	0	0	0	0
17		近藤 光駿	0	0	0	0	0
18		石井 海豊	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	/
TOTAL			70	2	24	16	

TEAM B 飛龍							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		山本 留佳	0	0	0	0	0
5		見館 空叶	0	0	0	0	3
6		廣岡 耕平	0	0	0	0	1
7	*	伊東 潤司	14	4	1	0	3
8	*	金井 星也	1	0	0	1	3
9		関屋 心	10	0	4	2	1
10	*	松下 裕汰	15	0	4	7	3
11		齋藤 一輝	0	0	0	0	0
12	*	杉山 裕介	11	0	5	1	5
13		奥村 大翔	0	0	0	0	0
14		松村 樹	0	0	0	0	0
15	*	馮 俊凱	16	0	6	4	2
16		後藤 恭利	0	0	0	0	0
17		長谷川 楓弥	0	0	0	0	0
18		牛島 宗揮	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	/
TOTAL			67	4	20	15	

【 得点経過 】



【 戦評 】

1PD 共にマンツーマンディフェンスでスタート。互いに足を使った激しいディフェンスのため簡単にシュートチャンスは作らせない。沼津中央は長身の⑩SAMBOUから、飛龍はオフェンスリバウンドから得点をつなぎ、5分で8-8と拮抗した状態が続く。しかし、沼津中央の⑧山田が制限区域内で活躍し始めると流れは沼津中央に傾く。飛龍は沼津中央⑩SAMBOUの高さを気にし得点を伸ばすことができず20-11で沼津中央リードで第1PDを終える。

2PD 第1PD同様、飛龍は攻めあぐねる状況が続くがディフェンスで粘りをみせ点差の開きは許さない。飛龍の打開策として⑦伊東などのアウトサイドシュートが考えられるがシュートは成功しない。一方、沼津中央は⑩渡辺が3ポイントを成功させたところで攻撃に広がりを見せる。残り5分で29-14と流れが沼津中央に傾いたところで飛龍はタイムアウトをとり再び一進一退の展開となるが、35-22と沼津中央リードで前半を折り返す。

3PD 巻き返しを図りたい飛龍は気迫のこもったプレーで沼津中央のゴール下へ攻め込む。沼津中央は9連続失点し、残り7分でたまたまタイムアウトをとる。それでも飛龍の勢いは止まらず⑩馮がフリースローを決めたところで1点差まで詰め寄る。しかし、飛龍の攻撃が単調となり沼津中央が突き放しにかかり一時は44-35となる。終盤、飛龍が堅いディフェンスからリズムを取り戻し48-45で勝負は最終ピリオドへ。

4PD 貴重な先取点を奪ったのは沼津中央⑧山田。その後沼津中央④藤原、飛龍⑦伊東が3ポイントを決め合い白熱した展開へ。その中、沼津中央⑩渡辺がバスケットカウントを獲得し有利に立つ。しかし沼津中央のターンオーバーに飛龍がつけ込み⑦伊東の3ポイントや⑨関屋のバスケットカウント等により残り2分で64-60と接戦へとつれる。沼津中央のタイムアウト後も飛龍は必死の追い上げをはかるが沼津中央が振り切り、70-67で決勝へと駒を進めた。

戦評(文責) 寺本真佐義(静岡西高校) 記入者 山口悠那 高橋希璃(島田商業高校)

第47回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会静岡県予選

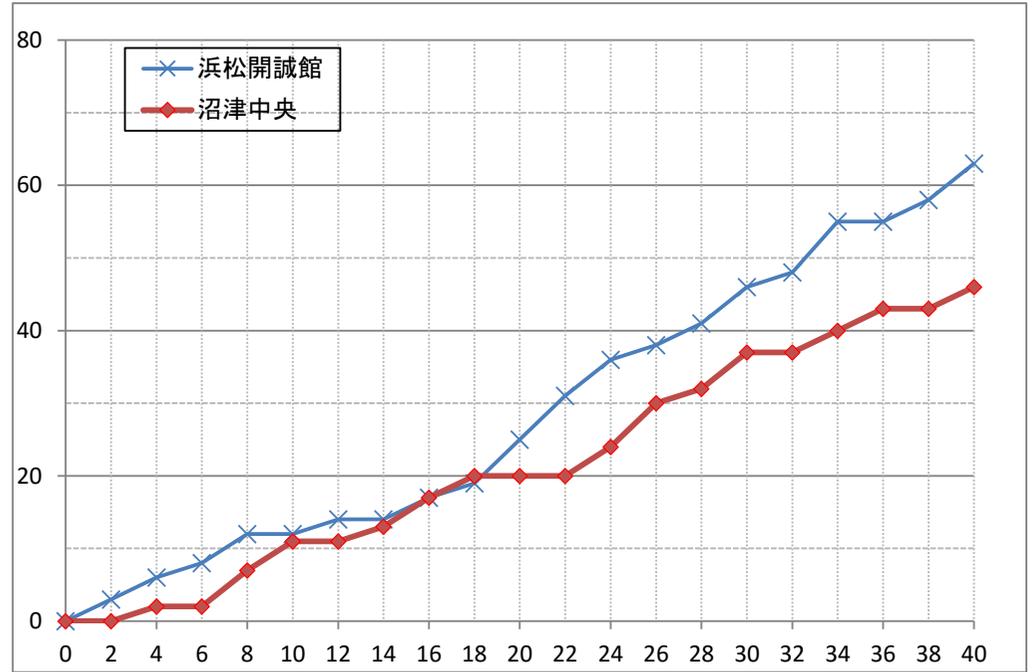
準決勝	
試合日	2016年11月12日
会場	静岡県武道館
コート	Zコート
開始時間	10:05

TEAM A		TEAM B
浜松開誠館 (西部)	63	46 沼津中央 (東部)
	12 - 11	
	13 - 9	
	21 - 17	
	17 - 9	
	OT	

TEAM A 浜松開誠館 (西部)							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	陽本 麻優	21	5	2	2	3
5	*	栗田 真生	0	0	0	0	3
6		滝川 美羽	0	0	0	0	0
7		松下 奈央	0	0	0	0	0
8	*	石田 悠月	25	2	6	7	3
9		樋口 菜帆	2	0	0	2	0
10	*	石牧 葵	6	1	1	1	1
11		奈須 希咲	0	0	0	0	0
12	*	鈴木 侑	9	2	0	3	4
13		松本 恵莉	0	0	0	0	0
14		小幡 桃花	0	0	0	0	0
15		伊藤 綾優花	0	0	0	0	0
16		岩上 夏巳	0	0	0	0	0
17		高橋 杏	0	0	0	0	0
18		佐藤 さくら	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	/
TOTAL			63	10	9	15	

TEAM B 沼津中央 (東部)							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	青柳 未祐	0	0	0	0	3
5	*	菅原 遥乃	2	0	1	0	4
6	*	箕嶋 渚	11	0	4	3	4
7	*	文屋 萌々華	20	3	5	1	4
8		小瀬村 唯	0	0	0	0	2
9		鈴木 紀乃花	0	0	0	0	0
10	*	佐藤 優樹	10	0	4	2	5
11		櫻井 梨胡	0	0	0	0	0
12		石井 香帆	0	0	0	0	0
13		嶋志田 里桜	0	0	0	0	0
14		長谷川 舞乃	3	0	1	1	1
15		松元 世菜	0	0	0	0	0
16		山下 真由花	0	0	0	0	0
17							
18							
TEAM/COACH			/	/	/	/	/
TOTAL			46	3	15	7	

【 得点経過 】



【 戦評 】

1PD 両チーム共にマンツーマンディフェンスで試合開始。互いにハードなディフェンスと激しいリバウンド争いをする中、流れを掴んだのは浜松開誠館。④陽本の3ポイントと⑧石田のバスケットカウントで得点すると、沼津中央はタイムアウトで落ち着きを取り戻す。浜松開誠館はシュートでオフェンスを終えるも、シュートが決まらず得点が伸びない。一方沼津中央は、浜松開誠館のディフェンスをなかなか崩すことができないが、数少ないシュートチャンスをものにし、浜松開誠館が1点リードで第1PDを終了。

2PD 浜松開誠館のシュート率は第2PDに入っても上らず重たい立ち上がりとなる。沼津中央のファウルがかさみ浜松開誠館のペースになるかと思われたが、沼津中央⑩佐藤のインサイドプレーと⑦文屋の3ポイントで逆転に成功。浜松開誠館は④陽本の3ポイントで再びリードすると第2PD終了間際に⑩鈴木の3ポイントも決まり25-20の浜松開誠館リードで前半を終了する。

3PD 浜松開誠館はセットプレーからのバスケットカウントと2連続の3ポイントで一気に点差を離す。流れは浜松開誠館に傾きかけるが、沼津中央はインサイドプレーとフリースローで得点し粘りをみせる。浜松開誠館はドライブを中心とした攻撃からファウルをもらいフリースローのチャンスを得るも、思うように得点を伸ばせない。一進一退の攻防を繰り返して、46-37の浜松開誠館リードで終える。

4PD 沼津中央は、2-3のゾーンディフェンスに変え巻き返しをはかる。しかし、浜松開誠館はアウトサイドシュートとドライブをバランスよく使い徐々に点差を広げていく。点差が15点となると沼津中央はオールコートディフェンスでブレッツチャーをかけるも、浜松開誠館は慌てることなくボールを運ぶ。残り2分、浜松開誠館は時間を有効に使い、63-46とリードを広げ勝利し、決勝へ駒を進めた。

戦評(文責)	鈴木洋平(島田高校)	記入者	山口悠那 村松杏子(島田商業高校)
--------	------------	-----	-------------------

第47回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会静岡県予選

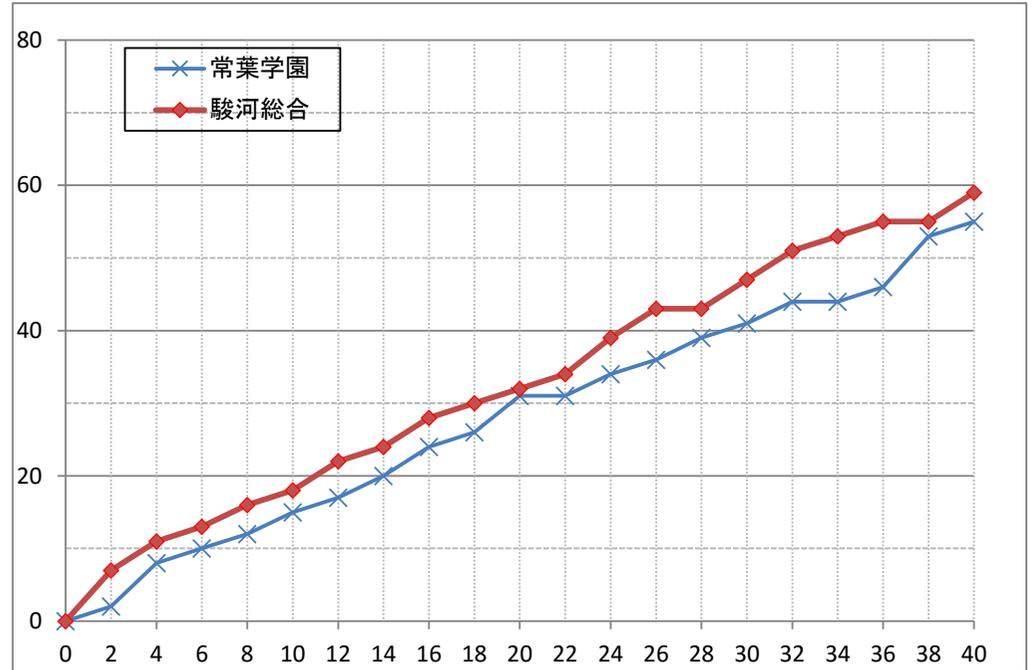
準決勝	
試合日	2016年11月12日
会場	静岡県武道館
コート	Zコート
開始時間	11:45

TEAM A		TEAM B
常葉学園 (中部)	55	駿河総合 (中部)
	15 - 18	
	16 - 14	
	10 - 15	
	14 - 12	
	OT	

TEAM A 常葉学園							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4		伊東 ひかる	5	0	2	1	1
5	*	高橋 夏瑠	10	0	5	0	2
6	*	伊東 かおる	12	0	2	8	4
7	*	造酒 祐香	4	0	2	0	1
8	*	野本 陽香	3	0	1	1	1
9	*	井上 麗	19	1	7	2	2
10		渡邊 侑季	0	0	0	0	0
11		山下 あい	2	0	1	0	1
12		梶村 明也乃	0	0	0	0	0
13		飯田 蒼未	0	0	0	0	0
14		山地 菜月	0	0	0	0	0
15		北村 音緒	0	0	0	0	0
16		見崎 菜摘	0	0	0	0	0
17		樋口 茜	0	0	0	0	0
18		杉山 もえ	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	/
TOTAL			55	1	20	12	

TEAM B 駿河総合							
No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	西村 葉優	20	0	8	4	3
5	*	西尾 優香	10	0	3	4	2
6	*	長嶋 アンソニー 真弥	10	0	4	2	4
7	*	加藤 陽	0	0	0	0	3
8		佐々木 なつみ	0	0	0	0	0
9		寺尾 友里	0	0	0	0	0
10		野村 菜由	11	1	4	0	3
11	*	小山内 バメラウゴ	8	0	3	2	1
12		中林 野笑瑠	0	0	0	0	0
13		中山 絵梨花	0	0	0	0	0
14		堀内 はるか	0	0	0	0	0
15		勝又 亜梨沙	0	0	0	0	0
16		小畑 千波	0	0	0	0	0
17		永石 華萌	0	0	0	0	0
18		神尾 優香	0	0	0	0	0
TEAM/COACH			/	/	/	/	/
TOTAL			59	1	22	12	

【 得点経過 】



【 戦評 】

1PD 両チーム共にマンツーマンディフェンスでスタート。駿河総合④西村の気迫のこもったドライブから先手をとる。対する常葉学園は、堅実なディフェンスから相手のミスを誘い得点につなげる。第1PD終盤には、常葉学園のリバウンドに対し駿河総合はファールを重ねる。しかし、終始駿河総合がリードし18-15で第1PDを終了。

2PD 両チームマンツーマンディフェンスを継続。駿河総合は④西村の1対1⑥長嶋のジャンプシュートで得点を挙げていく。常葉学園はディフェンスでのプレッシャーを強め徐々に点差を追い上げる。一進一退の攻防が続く中、常葉学園⑤高橋のジャンプシュートが決まり逆転に成功する。しかしその直後に駿河総合⑩野村の速攻が決まり、再逆転を果たす。そして、第2PDも32-31の1点差で駿河総合がリードする。

3PD 開始早々、駿河総合⑩野村のバスケットからの速攻が決まり、駿河総合に流れがくるかと思われたが、常葉学園のハードなディフェンスに苦戦し、駿河総合は点差を離すことができない。常葉学園も簡単にシュートを打たせてもらえずお互いに我慢の時間が続く。常葉学園のタイムアウト後、常葉学園のオールコートマンツーマンに対し、駿河総合はボール運びに苦戦する。お互いに粘り強いディフェンスを行い第3PDも一進一退の47-41で駿河総合リードで終わる。

4PD 逆転を狙う常葉学園はさらにディフェンスのプレッシャーを強め相手のミスを誘う。対する駿河総合は一步も引くことなく互角の戦いとなる。お互いに攻め手を欠く中常葉学園はプレスディフェンスを仕掛ける。残り1分29秒、常葉学園⑨井上のゴール下シュートが決まり同点に追いつくと、たまたま駿河総合はタイムアウトをとる。タイムアウト後最初の攻撃で果敢にゴールヘアタックした駿河総合⑥長嶋がフリースローをもらい57-55となる。常葉学園は、同点を狙ったシュートが外れ万事をきゆうす。駿河総合⑪小山内のゴールも決まり59-55で駿河総合が決勝に駒を進めた。

戦評(文責) 佐々木雅隆(城南静岡高校) 記入者 山口悠那 高橋希璃(島田商業高校)